

「松本里奈」さんの講演を実施 ～令和4年度広島中央安全運転管理協議会通常総会～

広島中央安全運転管理協議会

広島中央安全運転管理協議会は、令和4年6月22日(水)、中区千田町の情報プラザにおいて、令和4年度通常総会を開催しました。

総会では、広島中央警察署増田署長の挨拶をはじめ、木谷交通官による「最近の交通情勢」の説明のほか、2012年(平成24年)12月、東広島市の国道で大型トレーラーから鉄板が落下し、対向車の2人を死亡させた事故で、ご主人を亡くされた、松本里奈さんの講演が行われました。

松本さんは、「加害者も被害者も生まないために」と題して、
「交通事故の連絡を受けて、なかなか受け入れることができなかった。」ことや、
「時間の経過とともに家族に襲い掛かる精神的苦痛、それはいくら時間が経過しても変わらない。」との思い、さらに、安全運転管理者に対しては、
「運転前の確認や、心構えでリスクは減らせる。」

「事故というのは、加害者側は、次を気を付けてやり直すことができる。でも被害者は、特に命を失った被害者は、やり直しができない。」と強く訴えられました。

総会に出席された事業所の安全運転管理者の方々には、
「多くの自動車の運行を担う立場として、安全運転管理者による交通安全教育をはじめ、交通事故のない事業所の環境づくりの重要性」を再認識する講演となりました。

総会における松本さんの講演状況

